クリスチャンライフ学院・シラバス

年度・学期	2024 年度・春学期	単位	2
科目コード	M24S04		
分野・科目名	霊性の神学　「クリスチャンと芸術」		
講義日程	木曜日　4/11・4/18・4/25・5/9・5/16・5/23・5/30・6/6〔・6/13〕		
講師	渡辺　晋哉		

講義の概要	芸術家である創造主の似姿に造られた本来の人は、生涯の全ての領域を芸術的に生きると言う事を、聖書から学ぶ。中世からバロック期の絵画を勧賞する。表現された神の言葉を言語的(詩的)に、神の美を感性的に捉え、神との交わりを豊かにし、霊性を深め、世界に啓示された臨在を敏感に受け取り、人と分かち合う姿勢を学ぶ。
第 1 回	芸術としての聖書。創造における芸術。芸術家である神。
第 2 回	キリスト教世界観と人間の使命。Imago Dei
第 3 回	芸術における堕罪と贖罪。真に美しいもの＝神の息吹・音楽性
第 4 回	黙想＝霊性／中世のイコン 『聖三位一体』アンドレイ・ルブリョフ(15C.)
第 5 回	言語的(詩的)＝洞察／ルネサンス 『受胎告知』フラ・アンジェリコ、レオナルド・ダ・ヴィンチ
第 6 回	感性的＝感動／バロック 『エッケ・ホモ-この人を見よ』カラヴァジオ 『放蕩息子の帰還』レンブラント
第 7 回	神の美をつかむ＝生活芸術(芸術的生活)のすすめ
第 8 回	豊かな礼拝を捧げるために＝メンターとしての実践
目標	1)創造主から与えられている芸術家としての自分を見出す。 2)芸術家としての視点を持って、世界に満ちている神の啓示を受け止め、神との交わりを豊かにし、霊性を深めていく。 3)芸術的言語、感性、霊性を持って、神の臨在を他者に指し示すメンターを育成する。

【課題】中世からバロック期のキリスト教絵画を一つ選び、画像を添付し、あなた自身がそこから得られたみ言葉の洞察を、3000 字以上で書いてください。

【成績】
授業へのコミットメント（発言など）20%
レポート 80%

【参考図書】

- 『放蕩息子の帰還』ヘンリ・ナウエン著　片岡伸光訳　あめんどう
- 『巨匠が描いた聖書ベストセレクション』町田俊之著　いのちのことば社